

①改善活動と全員参画改善・貢献度を「見える化」する

テーマ・ポケット・マトリックス作成活動

ライバルや海外に勝つためには○○のテーマ実現が必要!
この仕事はやりにくい○○してほしい
この仕事はこうあるべきだ!……

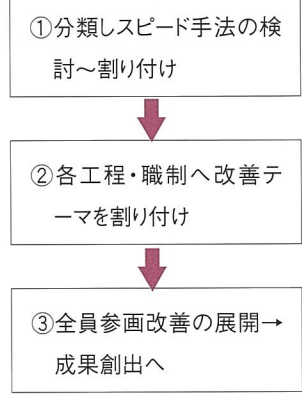
評価・抽出↓改善活動へ
アイデア貯金箱へ登録

集めたカード

要求をつかみ縦軸の要因(改善対象)、改善後の効果をの欄へ位置づける

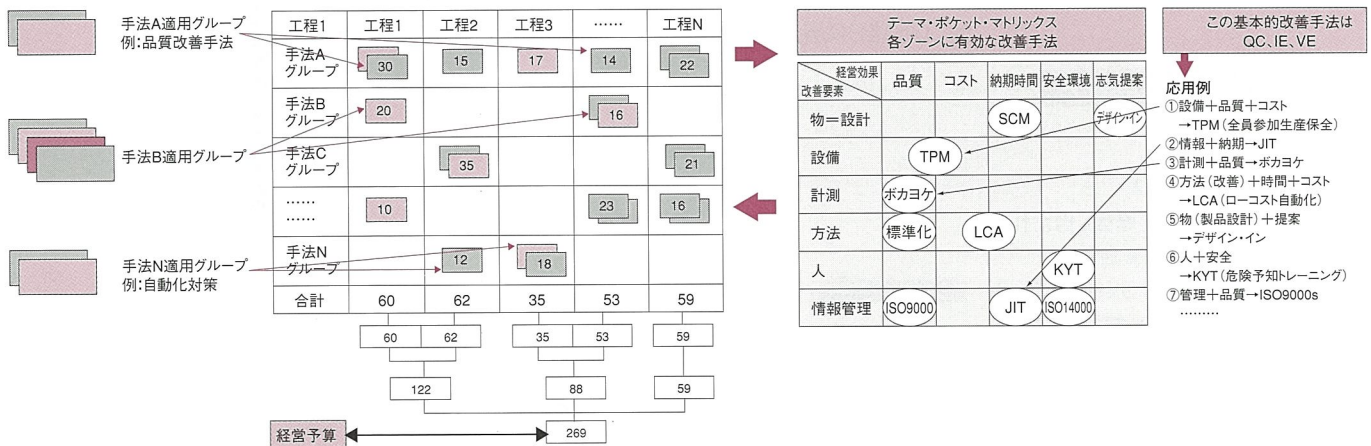
要因	経営効果	品質	コスト	納期	安全	士気
物=設計						
設備						
計測						
方法						
人						
情報・管理						

経営方針に従って評価→抽出→改善活動展開へ

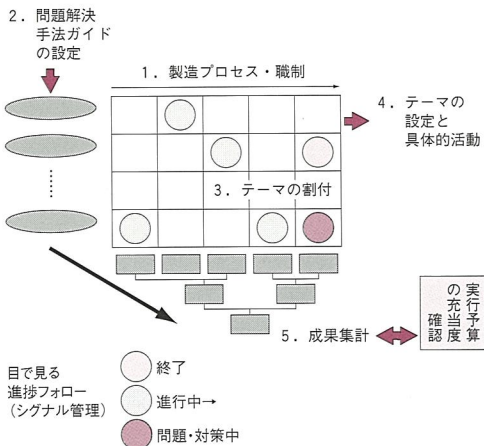


②抽出した改善内容に最適・すばやい手法を適用、各工程や、職制に割り付け

各テーマに最適問題解決手法の割り付け
→具体的活動への展開→経営予算との結合化へ



③「見える化」で進捗フォロー→成果創出へ



各テーマの全体の中での位置を確認する!

個々人の努力と経営貢献度の一体化(情報共有)の実現